

平成26年度

上尾市立小・中学校学力調査結果

〈概要〉

(平成26年4月16日実施)



《上尾市webサイト掲載用》

— 夢・感動教育 あげお —
上尾市教育委員会

目 次

1	学力調査実施の概要	
(1)	調査の趣旨	1
(2)	調査対象	1
(3)	調査期日	1
(4)	調査教科及び調査時間	1
(5)	使用検査紙	1
(6)	調査人数	1
2	上尾市学力調査結果の概要	2
3	学校別・学年別調査結果の概要	
	【小学校】 総合	3
	【中学校】 総合	4
4	教科別調査結果の概要	
	【小学校】	5
	【中学校】	6
5	領域別・観点別調査結果の概要	
	【小学校】	7
	【中学校】	11
6	各教科の課題と改善の視点	
	【小学校】	15
	【中学校】	16
7	質問紙調査結果の概要	
	【小学校第6学年】	17
	【中学校第3学年】	24
8	まとめ	31

1 学力調査実施の概要

(1) 調査の趣旨

本市児童生徒の学力の実態を把握するとともに、課題を明らかにして学習指導の改善を図ることにより、確かな学力を育成する。

(2) 調査対象

小学校 3. 4. 5. 6年

中学校 1. 2. 3年

(3) 調査期日

平成26年4月16日(水)

(4) 調査教科及び調査時間

小学校：第3学年～第6学年 国語(40分)、算数(40分)

中学校：第1学年 国語(40分)、算数(40分)

中学校：第2学年・第3学年 国語(45分)、数学(45分)、英語(45分)

※ 出題範囲は、前年度の学年の学習内容

※ 小学校第6学年、中学校第3学年で質問紙調査を実施

(5) 使用検査紙

T K式領域別標準学力検査(田中教育研究所編)

(6) 調査人数

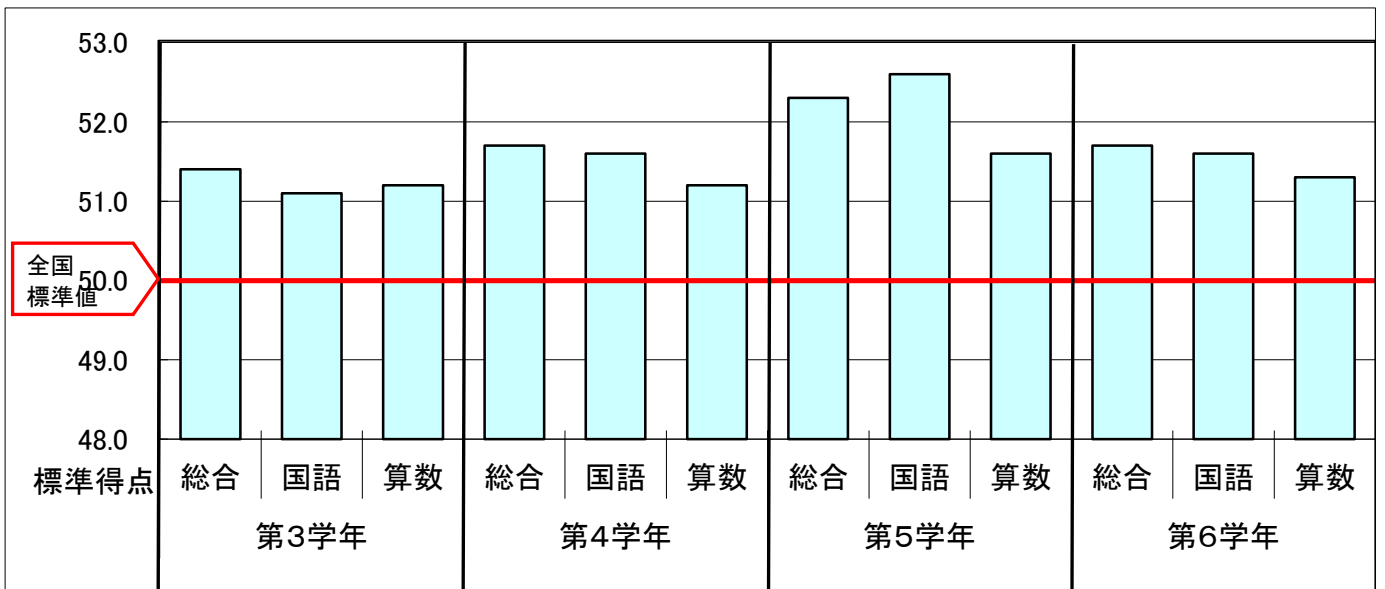
	国語		算数・数学		英語	
	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)
小学校	7,970	98.8	7,970	98.8	—	—
中学校	6,089	97.5	6,089	97.5	4,102	96.7
合計	14,059	98.2	14,059	98.2	4,102	96.7

2 上尾市学力調査結果の概要

【小学校】

全体 51.8

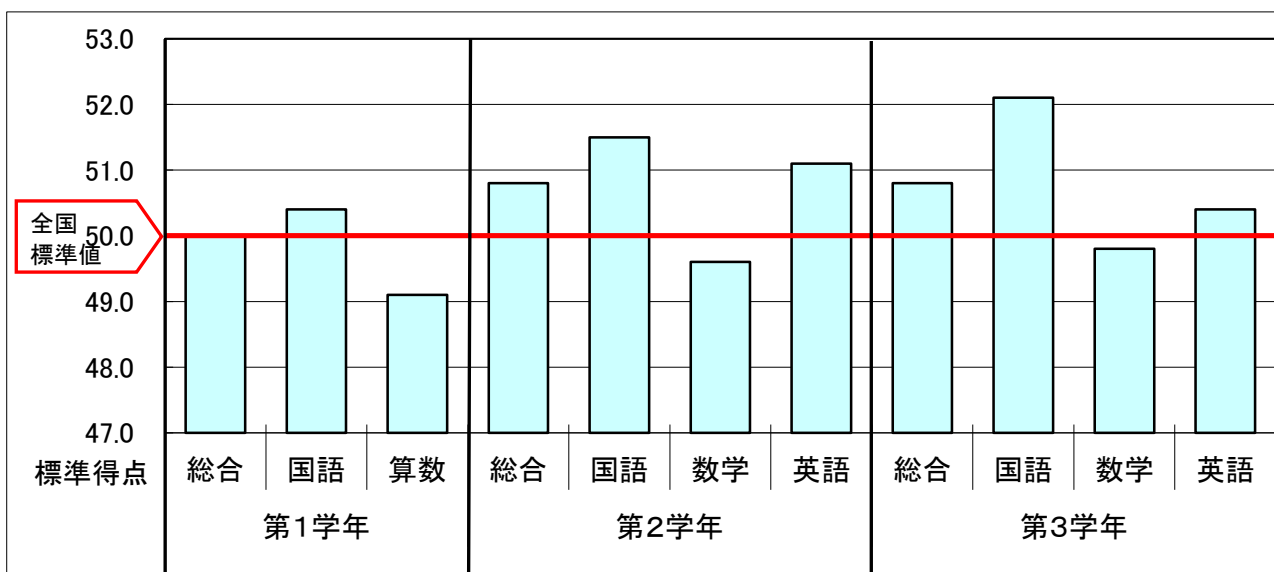
	第3学年			第4学年			第5学年			第6学年		
	総合	国語	算数	総合	国語	算数	総合	国語	算数	総合	国語	算数
平成26年度	51.4	51.1	51.2	51.7	51.6	51.2	52.3	52.6	51.6	51.7	51.6	51.3



【中学校】

全体 50.5

	第1学年			第2学年				第3学年			
	総合	国語	算数	総合	国語	数学	英語	総合	国語	数学	英語
平成26年度	50.0	50.4	49.1	50.8	51.5	49.6	51.1	50.8	52.1	49.8	50.4



3 学校別・学年別調査結果の概要

〔表の見方〕

- ① 数値は、全国標準値を50.0とした場合の各学校の数値である。
- ② 小学校22校、中学校11校の学校全体の平均値と各学年の平均値をそれぞれ数値の高い順に示している。
- ③ 同じ行の数値が、すべて同じ学校のものであるとは限らない。

【小学校】

総合（国語と算数を統合した数値）成績一覧

	学校全体	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
1	57.0	55.3	56.2	56.7	61.5
2	55.0	54.8	55.4	56.0	55.7
3	54.5	53.8	53.9	55.3	53.7
4	53.4	53.4	53.3	53.8	53.5
5	52.6	53.2	53.3	52.9	52.9
6	52.4	52.9	52.9	52.8	52.7
7	52.3	52.6	52.5	52.6	52.4
8	52.1	52.5	52.4	52.5	52.3
9	51.9	52.4	52.3	52.3	51.8
10	51.5	52.2	52.1	52.2	51.7
11	51.3	52.0	51.0	52.0	51.7
12	51.0	51.6	50.9	52.0	51.2
13	50.8	51.4	50.5	51.5	51.0
14	50.8	50.1	50.3	51.0	50.4
15	50.8	49.7	50.1	50.8	50.4
16	50.6	49.5	49.8	50.7	50.3
17	49.7	49.3	49.4	50.4	50.2
18	49.7	49.3	49.1	49.4	49.7
19	49.5	49.2	48.7	49.4	49.0
20	49.4	48.8	48.6	48.9	48.5
21	48.2	47.5	47.1	48.7	45.9
22	47.1	46.2	46.4	48.5	45.8
上尾市全体	51.8	51.4	51.7	52.3	51.7

【中学校】

総合（第1学年は国語と算数、2・3学年は国語と数学と英語を統合した数値）一覧

	学校全体	第1学年	第2学年	第3学年
1	52.7	51.8	52.8	53.5
2	51.7	51.4	52.1	52.2
3	51.6	51.2	51.7	52.1
4	51.0	50.2	50.9	51.9
5	50.7	50.1	50.8	51.7
6	50.6	50.0	50.7	50.9
7	50.2	49.4	50.6	50.5
8	50.1	49.3	50.2	50.4
9	50.0	48.9	50.0	50.1
10	47.2	47.5	48.3	46.3
11	47.0	47.4	48.0	45.4
上尾市全体	50.5	50.0	50.8	50.8

(分析)

【小学校】

- 小学校では、22校中16校において、学校全体の総合成績が全国標準値を上回っている。
- 小学校では、上尾市全体として全国平均を上回っている。学年別の状況も、すべての学年で全国平均を上回っている。

【中学校】

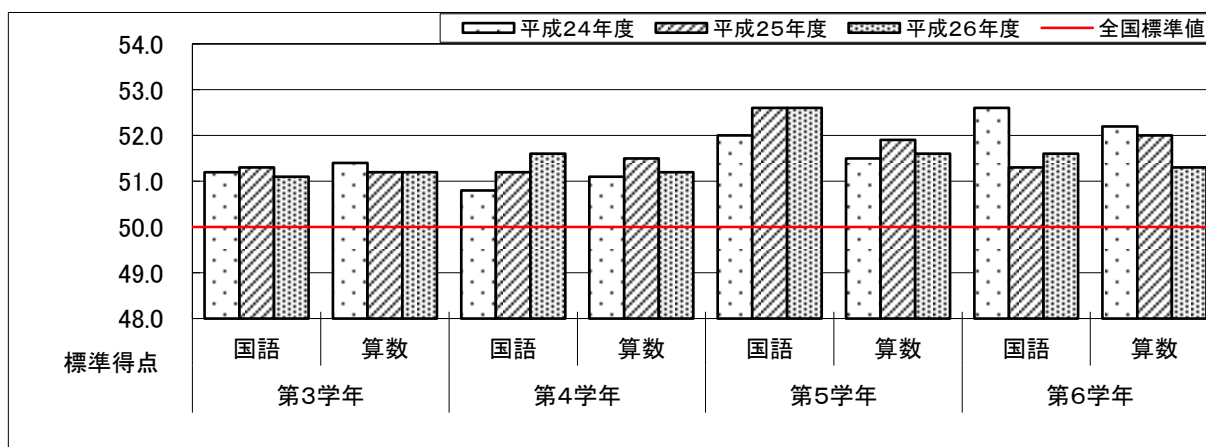
- 中学校では、11校中8校において、学校全体の総合成績が全国標準値を上回っている。
- 中学校では、上尾市全体として全国平均を上回っている。学年別の状況は、第2、第3学年は全国平均を上回っているが、第1学年は同じである。

4 教科別調査結果の概要

【小学校】

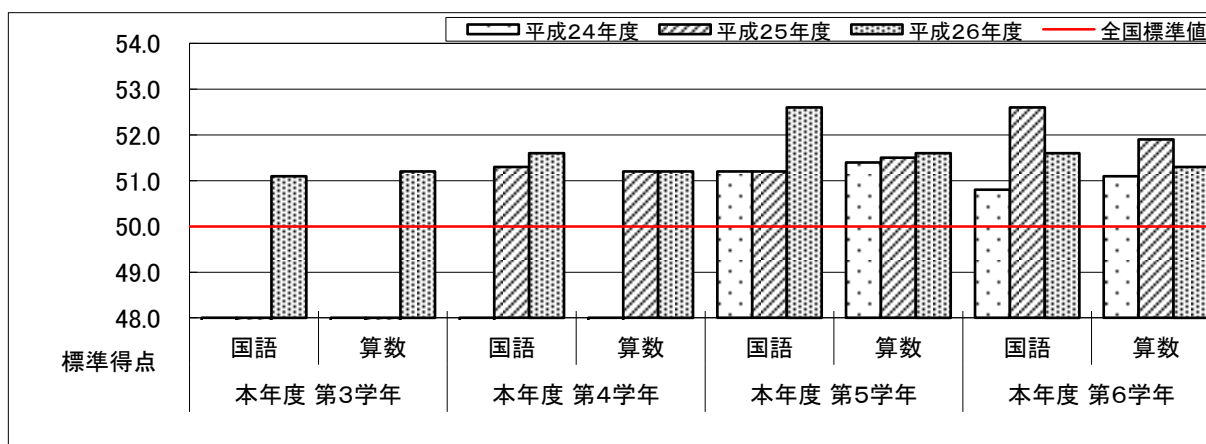
(1) 平成24年度～平成26年度の同学年における比較

	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
平成26年度	51.1	51.2	51.6	51.2	52.6	51.6	51.6	51.3
平成25年度	51.3	51.2	51.2	51.5	52.6	51.9	51.3	52.0
平成24年度	51.2	51.4	50.8	51.1	52.0	51.5	52.6	52.2



(2) 平成24年度～平成26年度の同グループにおける比較

	本年度 第3学年		本年度 第4学年		本年度 第5学年		本年度 第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
平成26年度	51.1	51.2	51.6	51.2	52.6	51.6	51.6	51.3
平成25年度	*	*	51.3	51.2	51.2	51.5	52.6	51.9
平成24年度	*	*	*	*	51.2	51.4	50.8	51.1



(分析)

本年度も、すべての学年において、国語、算数ともに全国標準値を上回っている。

【同学年における比較】

- 昨年度との比較では、第4学年の国語、第6学年の国語が伸びている。
- 3年間継続して、すべての学年において、国語、算数ともに全国標準値を上回っている。

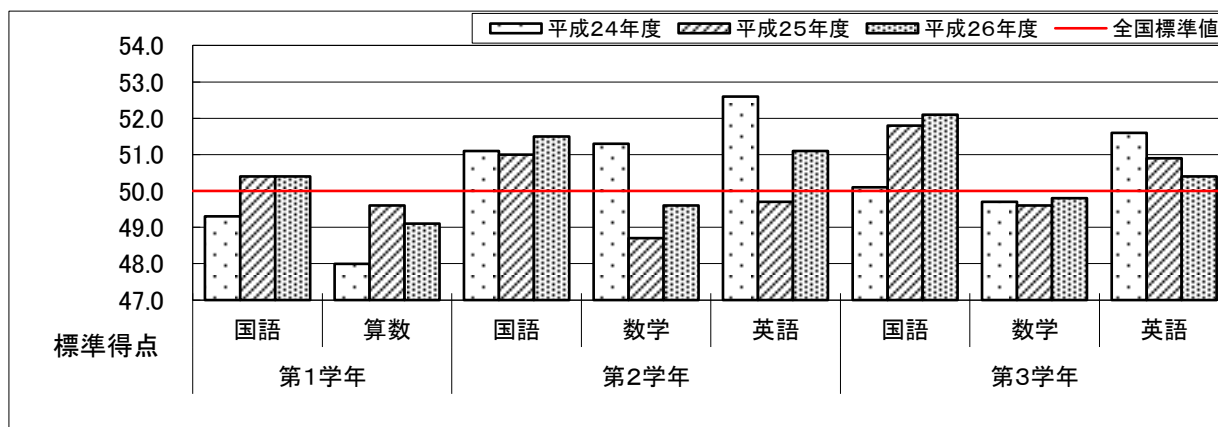
【同グループにおける比較】

- 昨年度との比較では、第4学年の国語、第5学年の国語、算数が伸びている。

【中学校】

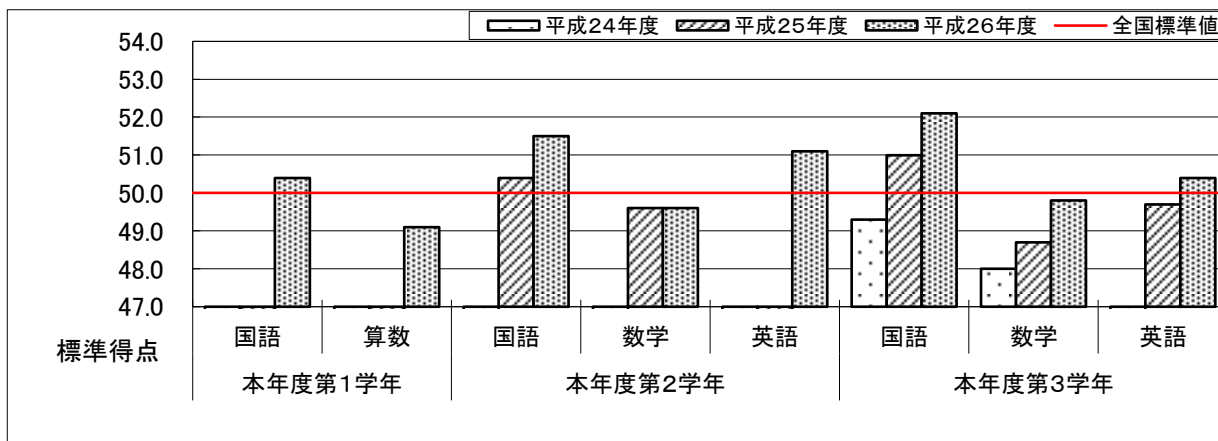
(1) 平成24年度～平成26年度の同学年における比較

	第1学年		第2学年			第3学年		
	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
平成26年度	50.4	49.1	51.5	49.6	51.1	52.1	49.8	50.4
平成25年度	50.4	49.6	51.0	48.7	49.7	51.8	49.6	50.9
平成24年度	49.3	48.0	51.1	51.3	52.6	50.1	49.7	51.6



(2) 平成24年度～平成26年度と同グループにおける比較

	本年度第1学年		本年度第2学年			本年度第3学年		
	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
平成26年度	50.4	49.1	51.5	49.6	51.1	52.1	49.8	50.4
平成25年度	*	*	50.4	49.6	*	51.0	48.7	49.7
平成24年度	*	*	*	*	*	49.3	48.0	*



(分析)

本年度は、すべての学年において、国語が全国標準値を上回っている。英語は第2学年、第3学年ともに全国標準値を上回っている。

【同学年における比較】

- 昨年度との比較では、第2学年の国語、数学、英語、第3学年の国語、数学が伸びている。
- 3年間の経過を見ると、第2学年の国語、第3学年の国語、英語が全国標準値を上回っている。

【同グループにおける比較】

- 昨年度との比較では、第2学年の国語、第3学年の国語、数学、英語が伸びている。
- 3年間の経過を見ると、第3学年の国語、数学、英語が順調に伸びている。

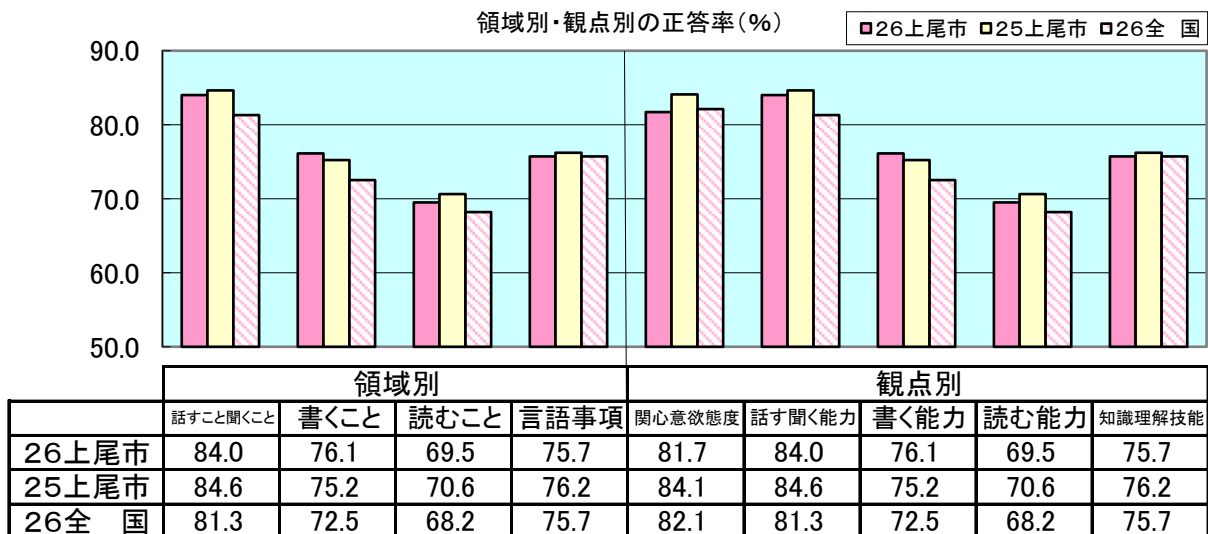
5 領域別・観点別調査結果の概要

- ※ 領域：学習指導要領に示されている各教科における指導内容の区分
- ※ 観点：観点別学習状況の評価の観点
- ※ 正答率：各領域・観点ごとの問題数に対する正答数の割合

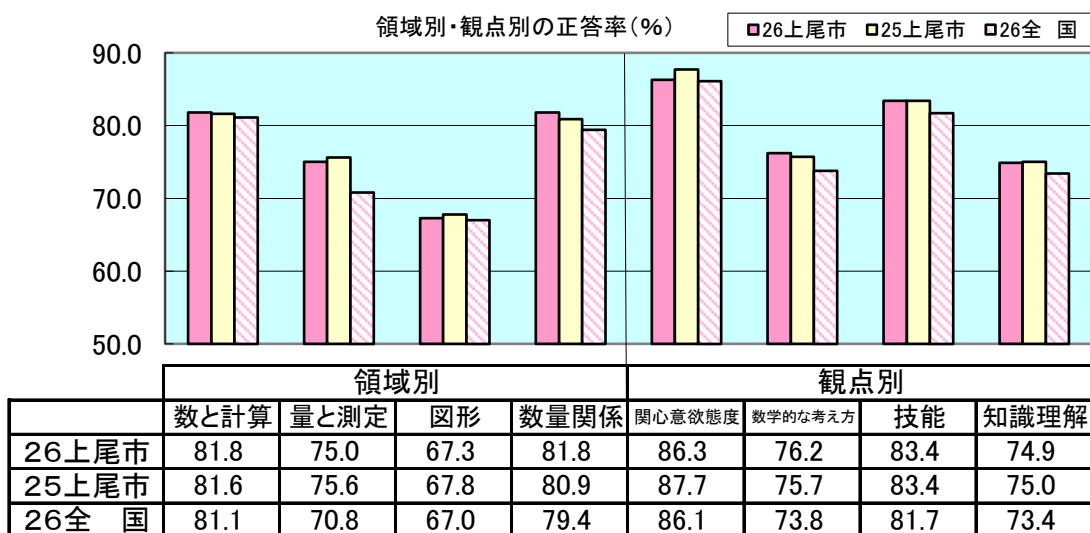
【小学校】

(1) 第3学年（第2学年の学習内容）

【国語】



【算数】



(分析)

【国語】

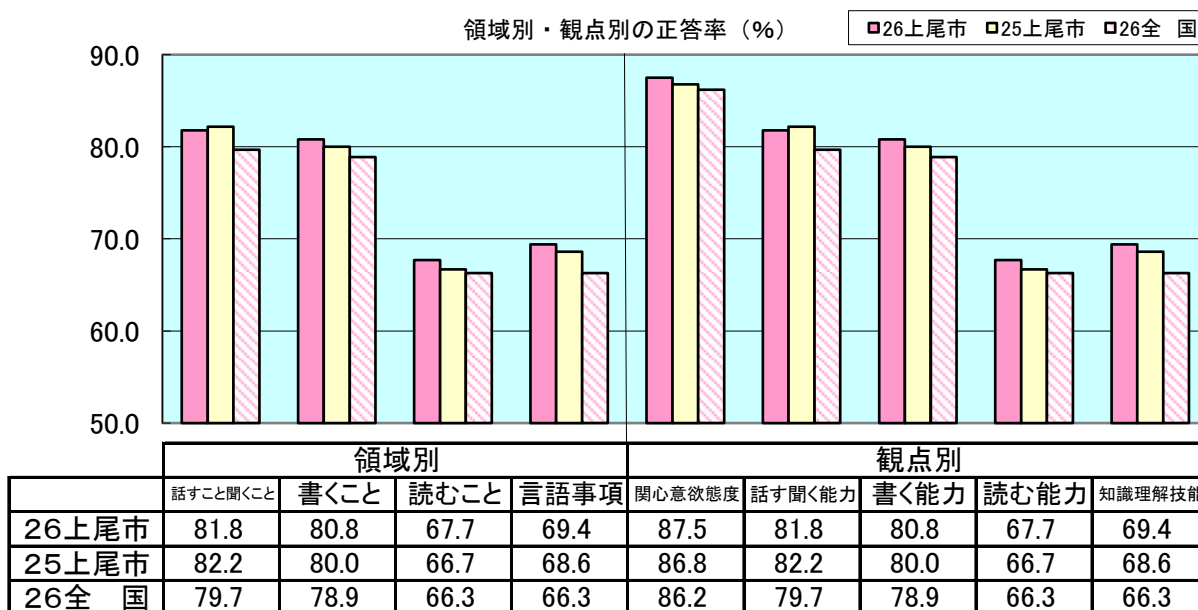
- 領域別の「言語事項」、観点別の「関心意欲態度」「知識理解技能」以外で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「書くこと」、観点別の「書く能力」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「正しい助詞を選ぶ」「説明文から読み取る」「主語・述語にあたる言葉を選ぶ」「二つの言葉を組み合わせた言葉を選ぶ」問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

【算数】

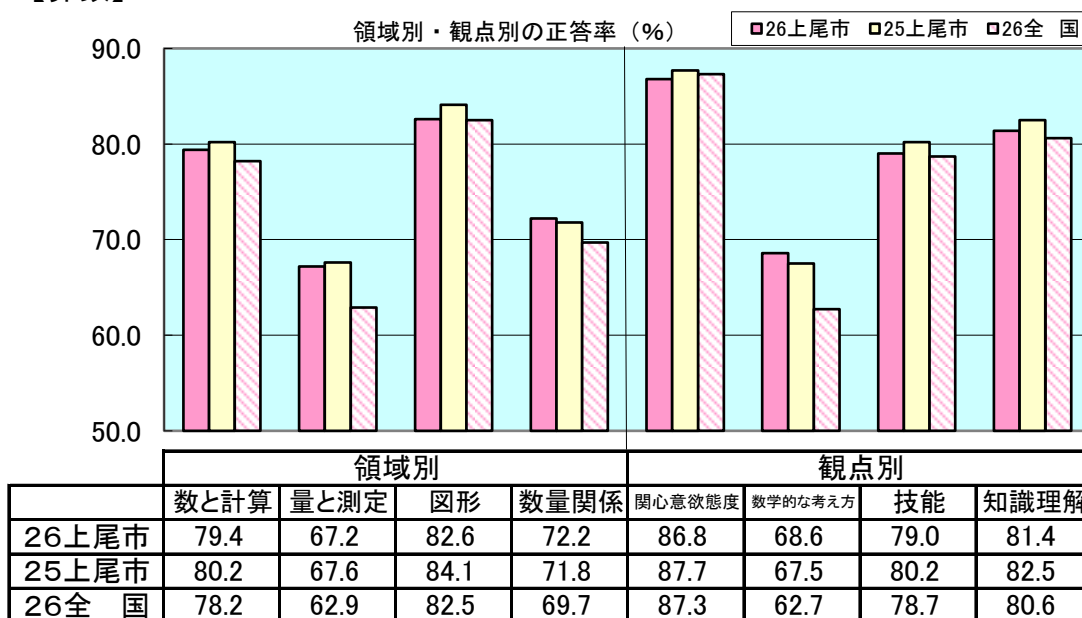
- すべての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「数と計算」「数量関係」、観点別の「数学的な考え方」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「図を見て何倍かを求める」「点線で切るとどんな形になるかを求める」「箱の形の辺と頂点の数を求める」問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

(2) 第4学年(第3学年の学習内容)

【国語】



【算数】



(分析)

【国語】

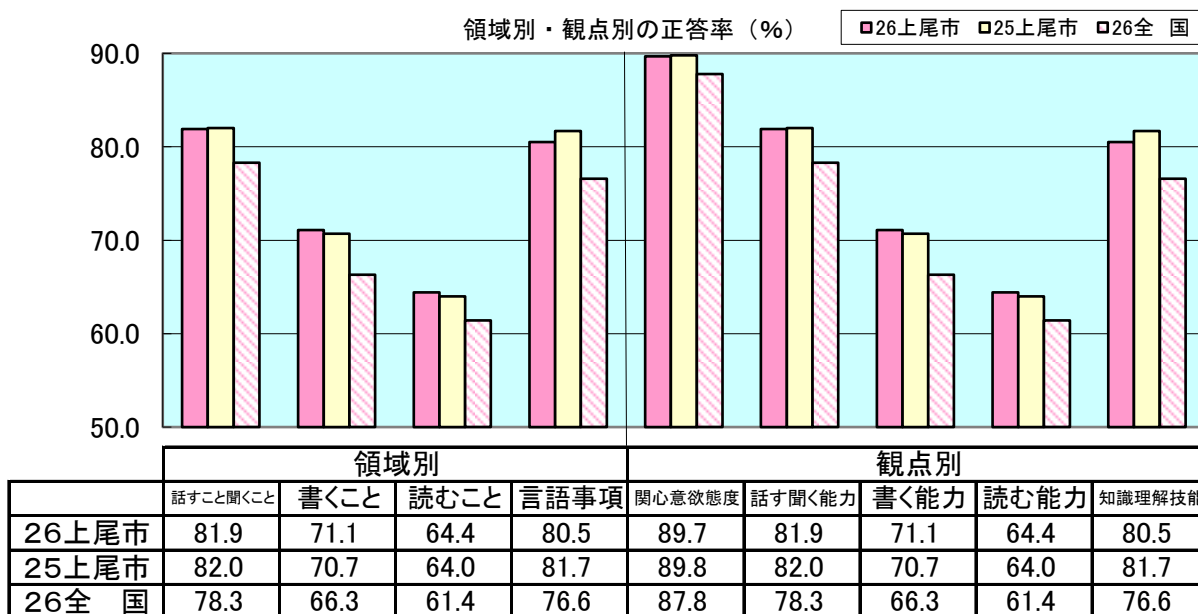
- すべての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「話すこと聞くこと」、観点別の「話す聞く能力」以外で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「聞いて様子を答える」「文章を正しい順に入れ替える」「丁寧にお願いする表現を選ぶ」「人に命令する表現を選ぶ」「物語文から読み取る」問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

【算数】

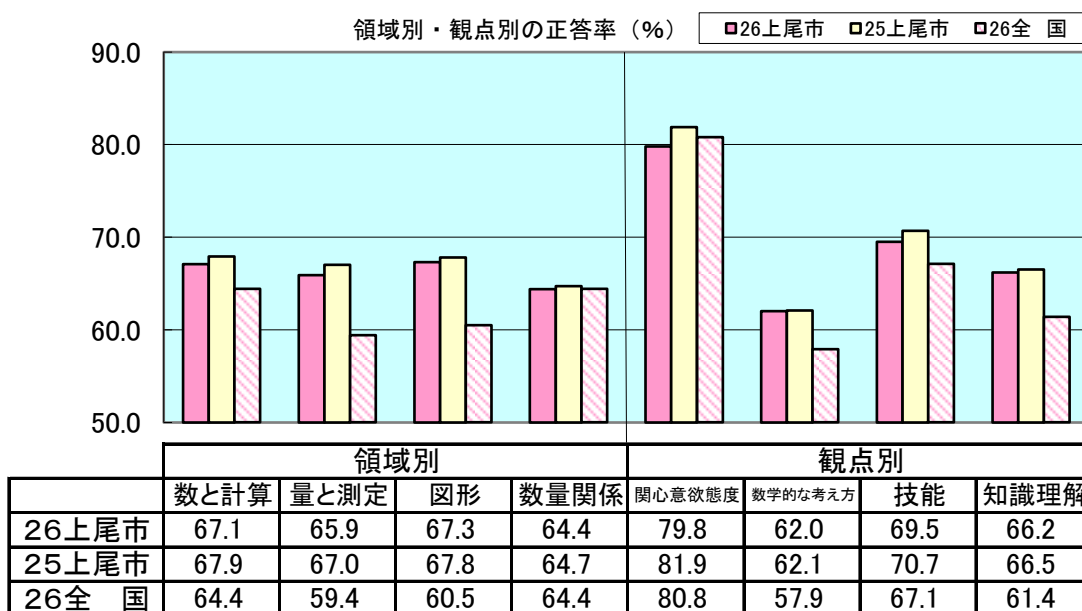
- 観点別の「関心意欲態度」以外で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「数量関係」、観点別の「数学的な考え方」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「水のかさを小数で表す」「かけ算の筆算」「はかりのめもりを読む」「二等辺三角形の定義を選ぶ」「一番大きくなる球の切り口を選ぶ」問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

(3) 第5学年(第4学年の学習内容)

【国語】



【算数】



(分析)

【国語】

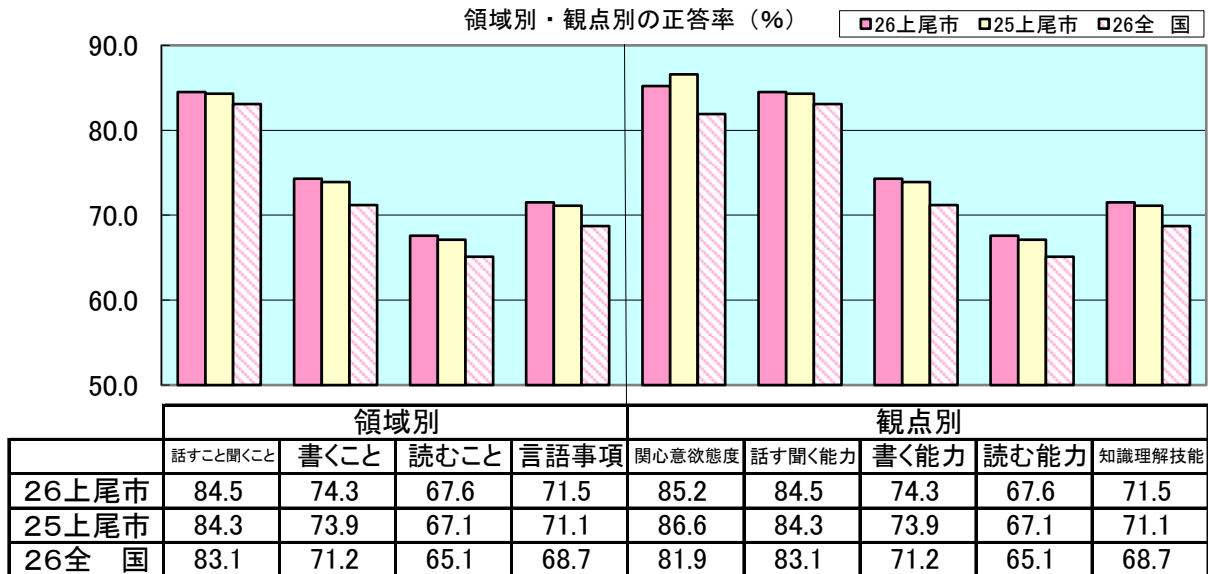
- すべての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「書くこと」「読むこと」、観点別の「書く能力」「読む能力」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「作文から筆者の意図を読み取る」「物語文から読み取る」「漢字を書く」問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

【算数】

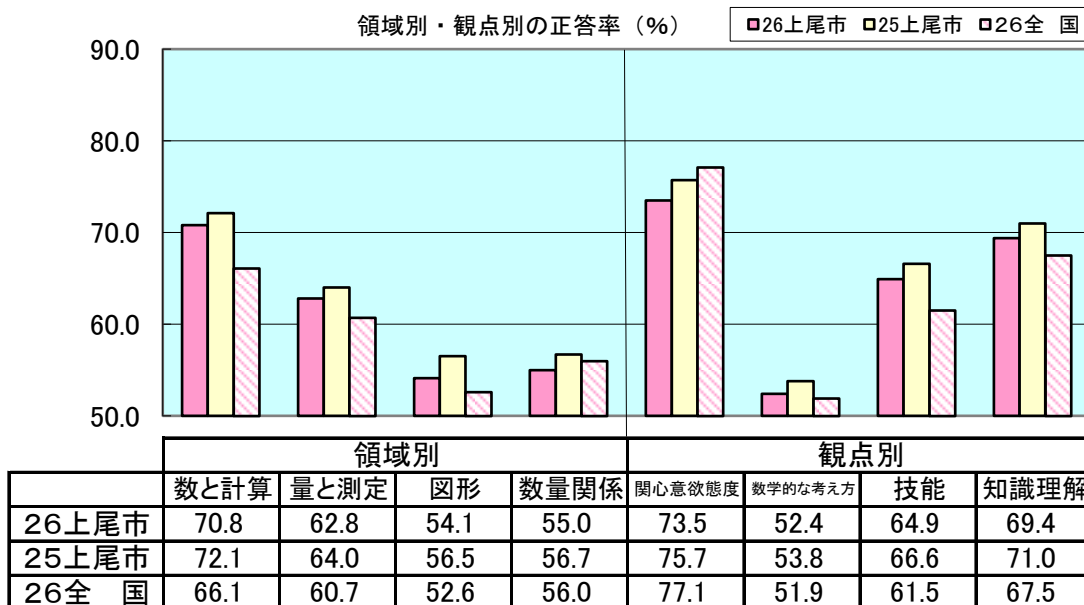
- 観点別の「関心意欲態度」以外で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「小数の割り算」「表からどちらにもあてはまらない人数を求める」問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

(4) 第6学年(第5学年の学習内容)

【国語】



【算数】



(分析)

【国語】

- すべての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- 観点別の「関心意欲態度」以外で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「物語文から読み取る」問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

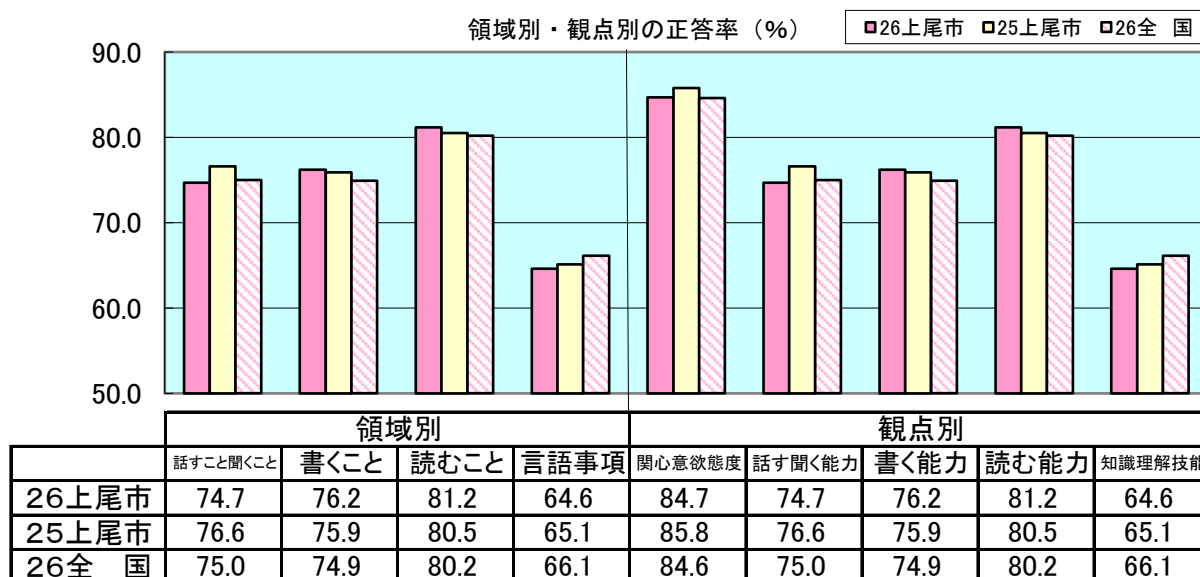
【算数】

- 領域別の「数量関係」、観点別の「関心意欲態度」以外で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「奇数を求める」「ひし形の面積を求める」「五角形の角の大きさの和を求める」「円周から円の直径を求める」「四角形の外角の大きさを求める」「割引後の値段を求める」「比較量や基準量から割合を求める」問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

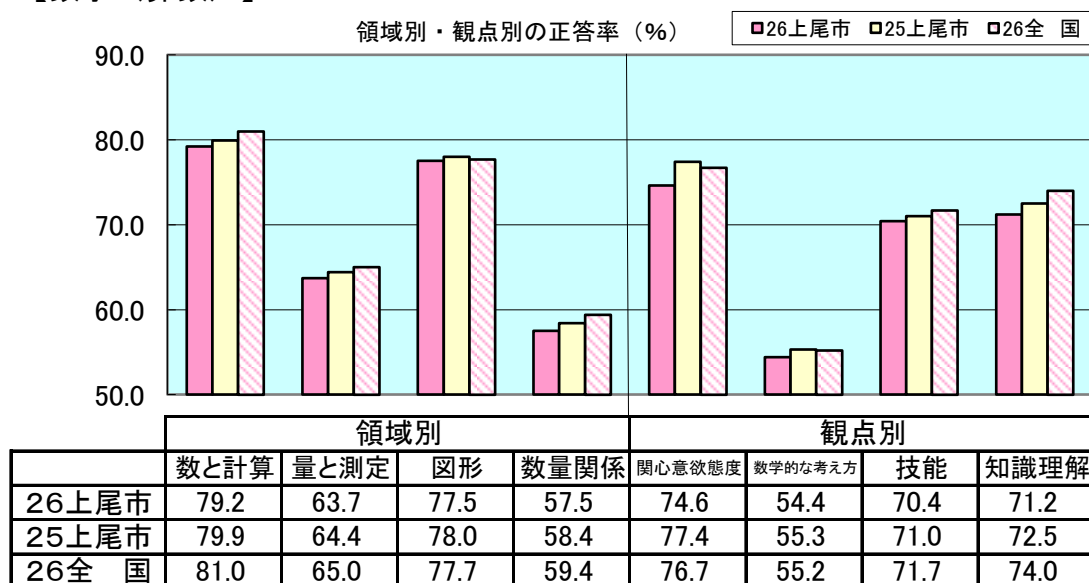
【中学校】

(1) 第1学年（小学校第6学年の学習内容）

【国語】



【数学（算数）】



(分析)

【国語】

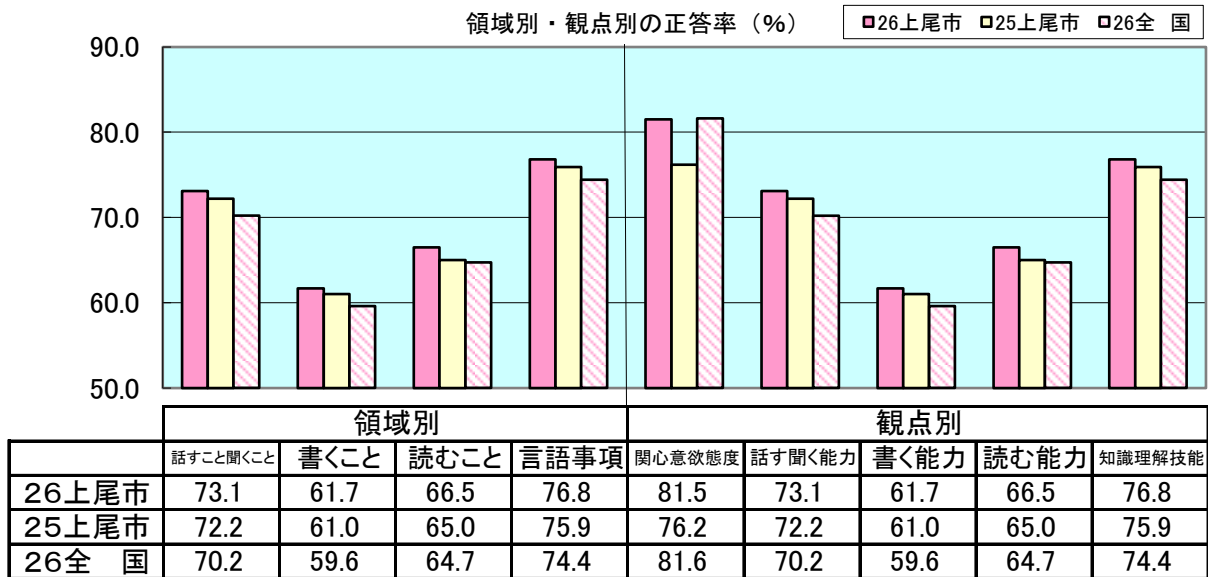
- 領域別の「書くこと」「読むこと」、観点別の「関心意欲態度」「書く能力」「読む能力」で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「書くこと」「読むこと」、観点別の「書く能力」「読む能力」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「話を聞いて答える」「アンケートのよい取り方を選ぶ」「敬語の正しい使い方を選ぶ」「漢字の読み書き」「打ち消しの漢字を書く」問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

【数学（算数）】

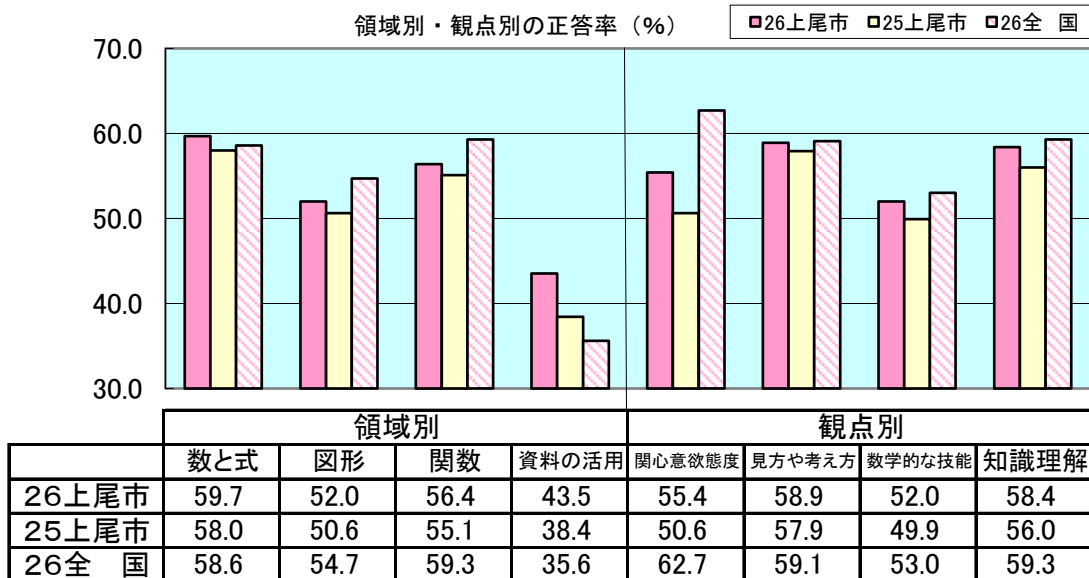
- すべての領域・観点で、全国の正答率を下回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「分数のかけ算・わり算の計算」「時速と道のりから速さを求める」「およその面積を求める」「単位換算」「縮図から実際の長さを求める」「比を使って値を求める」「場合の数で何通りかを求める」「比例の関係を式やグラフで表す」「グラフの名前や度数分布表を読み取る」問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

(2) 第2学年(第1学年の学習内容)

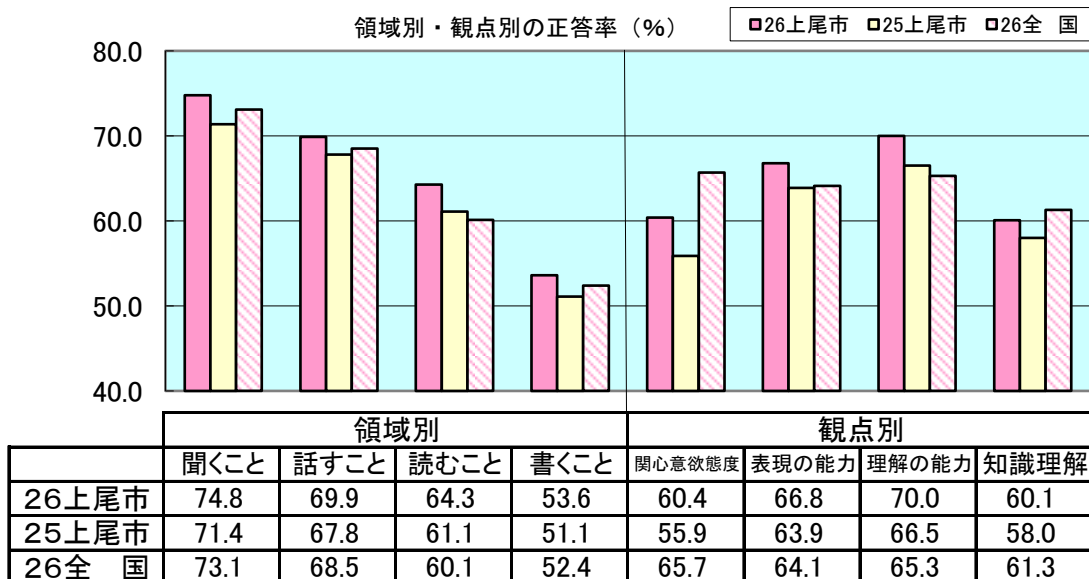
【国語】



【数学】



【英語】



(分析)

【国語】

- 観点別の「関心意欲態度」以外で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「漢字の誤りを直す」「報告文に書く内容として適切なものを選ぶ」問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

【数学】

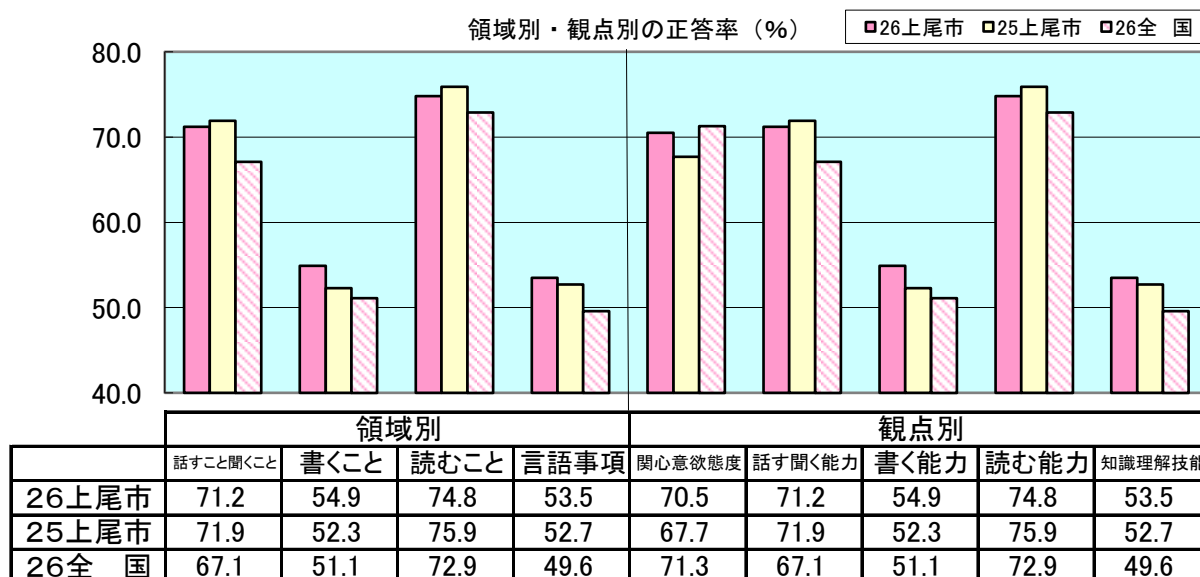
- 領域別の「数と式」「資料の活用」で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「正負の数の大小を求める」「文字式に表す」「分数を含む一次方程式を解く」「ねじれの位置を求める」「立体の側面積や体積を求める」「図形の性質から角度や面積を求める」「移動した図形の性質から角度や長さを求める」「比例・反比例の性質から値を求める」が、全国の正答率を下回り、課題がある。

【英語】

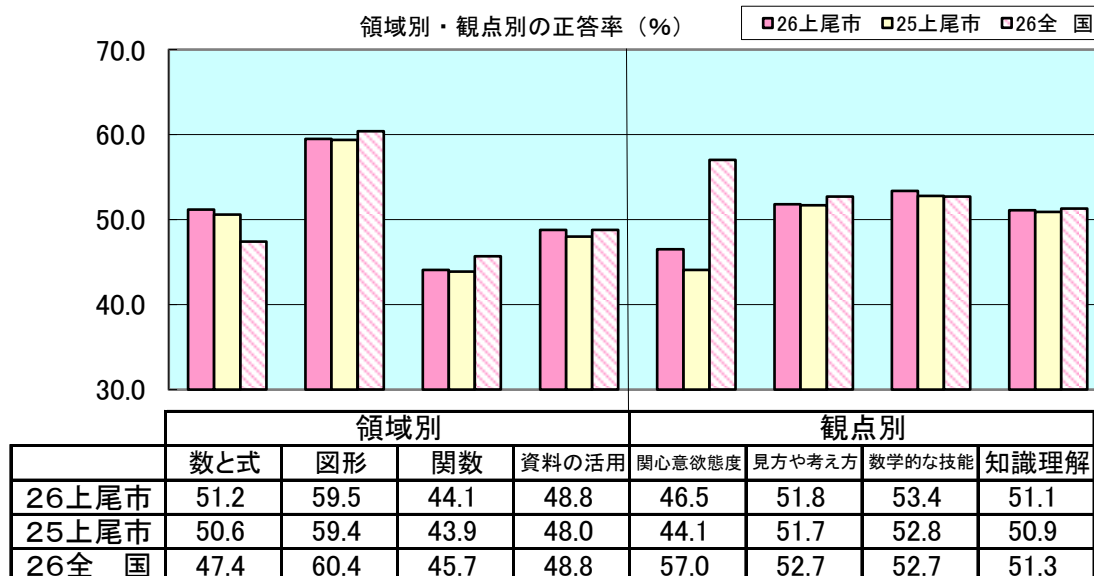
- 観点別の「関心意欲態度」「知識理解」以外で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「絵に対する質問を聞き答える」「あてはまる語を聞き取る」「イントネーションやアクセントを答える」「英文にあてはまるもっとも適した語を選ぶ」「英文の誤りを適切な語に直す」問題が全国正答率を下回り、課題がある。

(3) 第3学年(第2学年の学習内容)

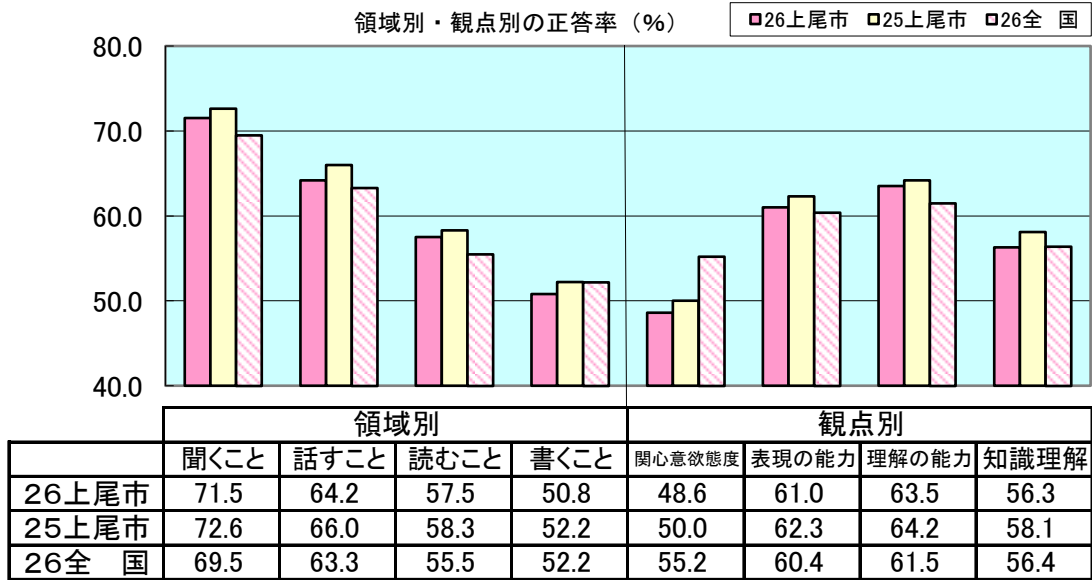
【国語】



【数学】



【英語】



(分析)

【国語】

- 観点別の「関心意欲態度」以外で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「書くこと」「言語事項」、観点別の「関心意欲態度」「書く能力」「知識理解」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「依頼状の誤りを直す」「依頼状の正しい結語を選ぶ」「古典文から読み取る」「最も適する類義語を選ぶ」問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

【数学】

- 領域別の「数と式」、観点別の「数学的な技能」で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、「文章題から方程式を用いて答えを出す」「平行四辺形の性質を利用して証明する」「外角を理解し角度を求める」「三角形の性質を利用して角度を求める」「一次関数のグラフや座標を求める」「場合の数や確率を求める」問題が、全国正答率を下回り、課題がある。

【英語】

- 領域別の「書くこと」、観点別の「関心意欲態度」「知識理解」以外で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で、昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、「会話と質問や英文を聞き取り答える」「同じ発音や強く発音する語を選ぶ」「会話文にあてはまる語を選ぶ」「ほぼ同じ内容の英文を作る」「日本文に合う英文を作る」問題が、全国の正答率を下回り、課題がある。

6 各教科の課題と改善の視点

【小学校】

(1) 国語

全体的には、全国の正答率を上回る状況である。しかし、観点別の「関心・意欲・態度」で全国平均を下回る等、各学年ともに課題があることから、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 学年間の目標・内容の系統性を明確にし、見通しと振り返りのある授業を展開し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る指導方法を工夫する。

イ 日常生活で活用できる言語能力の定着を図るとともに、自ら学び、課題を解決していく能力の育成を図る。

ウ 学習に関する興味関心を高める手段として、デジタル教科書などのICT機器の活用を図る。

エ 個に応じた教材の開発や学習形態・学習方法の工夫に努め、児童の実態に応じた学習活動を展開する。

オ 児童の学習状況を多面的・総合的にとらえ、学習活動に即した評価規準を設定し、次の学習に生かす評価方法を工夫する。

(2) 算数

全体的には、全国の正答率を上回る状況である。しかし、観点別の「関心・意欲・態度」、領域別では「数量関係」に課題がある。意欲的に授業に取り組み、基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、それらをすすんで活用できる思考力・表現力を育成させ、数学的な見方や考え方をもちつことのよさに気づかせるために、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 児童が学習内容をより一層理解するために、日常生活に関係がある興味・関心を高める導入問題の提示・工夫、そこから生起する課題意識の醸成、算数的活動の一層の充実、多様な見方や考え方を表出させ、共有化を図る指導の工夫、ICT機器の効果的かつ積極的な活用を推進する。

イ 身に付けた知識や技能を整理し、それらを活用するための思考力・表現力を育成し、算数のよさが実感を伴って味わえるような指導方法の工夫・改善を図る。

ウ 観点別学習状況の評価規準や評価方法を明確にして、指導と評価の計画を作成し、児童一人一人に応じた指導の手立てや支援の仕方を工夫する。

エ 児童の多様な考え方や表現による数理的な処理のよさを生かし、児童相互による比較・検討を行わせ、言語活動を充実させ、よりよい考え方や結果を追究する過程を重視した学習活動を展開する。

オ 身に付けた知識や技能を活用できる適用問題を解かせ、児童に達成感・成就感を味わわせる。

カ 繰り返し指導や振り返りを充実させ、授業内容の習熟を図る。

【中学校】

(1) 国語

全体的には、全国の正答率を上回る状況である。しかし、領域別では「話すこと・聞くこと」「言語事項」、観点別では「関心・意欲・態度」に課題がある。意欲的に授業に取り組み、基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、それらを活用したり、国語で学んだことを他教科へ発展させたりするために、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 教師の説明を中心とした授業から、教えるべきことを教えた上で、生徒の学び合いを通して言語活動を重視する授業へと展開を図り、指導事項を指導する。

イ 思考力や判断力、表現力の育成を目指し、「話すこと・聞くこと」・「書くこと」・「読むこと」を関連させ、日常生活に活用する事例やさまざまな文章、資料を意図的・計画的に取り上げ、自ら学び、課題を解決していく能力の育成を図る。

ウ 学習に関する興味関心を高め、学習に関する情報収集や情報発信の手段として、デジタル教科書などのICT機器の活用を図る。

エ 具体的な評価規準と評価方法を設定し、適切な手立てを講じ、生徒の実態に応じた学習活動を展開する。

オ 発達の段階に応じた良書にふれさせることで、読書に親しむ態度を育成するとともに、豊かな創造力や表現力、語彙力を育てる。

(2) 数学

どの学年も全国の正答率よりやや下回っている状況である。そのため、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 生徒が興味・関心や目的意識をもって授業に臨めるよう、ねらいを明確にし、日常生活と関連のある問題を提示し、そこから生起する課題を意識させ、数学的活動を重視して、生徒が主体的に学習できるようにする。

イ 生徒の習熟の程度を把握し、補充的な学習や発展的な学習などの指導方法の工夫・改善を図るとともに、繰り返し指導を行うことによって学習内容の定着を図り、学ぶことの楽しさと達成感・成就感を味わわせる学習展開を工夫する。

ウ 教材研究をより一層充実させ、教材のもつ意味や価値、系統性や発展性、他の内容や教科等との関連を明確にする。

エ 観点別評価規準を明確にし、適切な評価方法を設定して、指導と評価の一体化を図り、生徒一人一人の学習状況に応じたきめ細かな支援を行う。

オ 生徒が学習内容をよく理解し、納得し、実感できるように、多様な見方や考え方ができる問題や場面の工夫、主発問や補助発問、指示の工夫、ICT機器の効果的かつ積極的な活用を図るとともに、わかる授業を展開する。

(3) 英語

全体的には全国の正答率をやや上回る状況である。各学年共通して領域別の「コミュニケーションへの関心意欲態度」「知識理解」について課題が見られることから、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 学習の目標や指導内容、指導方法を明確にし、指導課程や学習形態を工夫するとともに、個に応じた指導などきめ細かな指導の充実を図る。

イ 外国語指導助手(ALT)や地域人材などをの協力を得たり、ICT機器の積極的活用を図ったりする等、生徒の学習意欲を喚起する指導を展開する。

ウ 具体的な評価規準や評価方法を設定し、評価を重視した指導と評価の計画を作成し、生徒一人一人の学習状況に応じた支援を工夫する。

エ 実際に言語を使用して互いの気持ちや考えを伝え合う活動を充実させ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努める。

オ 言語の使用場面や言語の働きに配慮し、生徒が主体的に生き生きと授業に取り組めるよう、言語活動の充実を踏まえた学習展開や学習活動の工夫を図る。

7 質問紙調査結果の概要

【小学校第6学年】 ※ 総合は、国語と算数の問題数の合計から求めた正答率である。

(1) 学校に来る前に、きちんと朝ごはんを食べてきますか。

朝食の 摂取状況	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	無答 もしくは重答
	94.7%	3.7%	1.1%	0.3%	

朝食と正答率の関係

	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	市全体	全 国
総 合	69.0	54.4	50.8	46.7	68.2	65.6
国 語	73.6	61.2	59.4	59.1	73.0	70.4
算 数	64.3	47.6	42.2	34.3	63.3	60.7

(分析)

上尾市全体の約95%の児童が、学校に来る前にきちんと朝ごはんを食べてきている。各教科のいずれも「きちんと朝ごはんを食べてくる」と答えた児童の正答率だけが、市及び全国の正答率を上回っている。

(2) 早寝、早起きを心がけていますか。

起床・就 寝の状況	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	無答 もしくは重答
	27.8%	54.4%	15.4%	2.3%	

早寝、早起きと正答率の関係

	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	市全体	全 国
総 合	69.4	68.5	65.1	64.4	68.2	65.6
国 語	73.5	73.8	69.8	67.4	73.0	70.4
算 数	65.2	63.3	60.4	61.3	63.3	60.7

(分析)

「だいたい心がけている」を含めて、82%以上の児童が早寝、早起きを心がけており、市及び全国の正答率を上回っている。「あまり心がけていない」を含めて、心がけていない児童の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(3) 一日の睡眠時間はどれくらいですか。(土曜、日曜日は除く)

睡眠時間	1 6時間より 少ない	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	無答 もしくは重答
	1.3%	5.9%	16.9%	43.6%	28.5%	3.7%	

睡眠時間と正答率の関係

	1 6時間より 少ない	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	市全体	全 国
総 合	57.5	61.5	69.1	69.9	68.0	59.5	68.2	65.6
国 語	64.1	67.9	72.9	74.4	73.1	66.3	73.0	70.4
算 数	50.9	55.0	65.2	65.4	62.9	52.7	63.3	60.7

(分析)

平均睡眠時間は8～9時間が最も多く、8～10時間の睡眠をとっていると答えた児童が全体の約73%となっている。国語、算数ともに平均睡眠時間が8～9時間の児童の正答率が最も高く、市及び全国の正答率を上回っている。

(4) 身の回りのこと(整理・整頓など)は、自分でしていますか。

整理整頓	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答 もしくは重答
	47.0%	40.9%	11.2%	0.8%	0.2%

整理整頓と正答率の関係

	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	70.7	67.2	62.3	48.9	68.2	65.6
国語	75.5	71.9	67.6	54.6	73.0	70.4
算数	66.0	62.4	56.9	43.3	63.3	60.7

(分析)

「しているほうが多い」を含め、身の回りのことを自分でしている児童が約88%となっており、身の回りの整理・整頓はおおむね自分でやっている現状である。「自分でしている」児童の正答率だけが、市及び全国の正答率を上回っている。「自分でしていない」と答えた児童は、市及び全国の正答率を大きく下回っている。

(5) 先生や友だち、近所の人に会った時、あいさつをしていますか。

あいさつ	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	無答 もしくは重答
	52.6%	38.9%	7.8%	0.6%	0.0%

あいさつと正答率の関係

	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	市全体	全国
総合	68.7	68.2	66.0	47.2	68.2	65.6
国語	73.2	73.4	71.3	50.8	73.0	70.4
算数	64.3	62.9	60.7	43.5	63.3	60.7

(分析)

「しているほうが多い」を含め、あいさつをする児童が92%以上であり、多くの児童があいさつをしている。あいさつをする児童は、市及び全国の正答率と上回っている。一方、「していないほうが多い」を含め、あいさつをしていない児童は、市及び全国の正答率を下回っている。

(6) 相手や場面に応じて、言葉づかいに気をつけていますか。

ていねいな 言葉づかい	1 気をつけて いる	2 いるほうが 多い	3 いないほう が多い	4 気をつけて いない	無答 もしくは重答
	54.2%	39.1%	6.2%	0.5%	

言葉づかいと正答率の関係

	1 気をつけて いる	2 いるほうが 多い	3 いないほう が多い	4 気をつけて いない	市全体	全 国
総 合	69.8	67.6	58.5	48.1	68.2	65.6
国 語	74.7	72.3	63.6	55.6	73.0	70.4
算 数	64.9	63.0	53.5	40.6	63.3	60.7

(分析)

「気をつけているほうが多い」を含め、言葉づかいに気をつけている児童は93%以上となっている。言葉づかいに「気をつけている」児童の正答率のみが、市の正答率を上回っている。「気をつけていないほうが多い」を含めて、気をつけていない児童の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(7) 学校のものや公共物を大切にしていますか。

ものの 扱い方	1 大切に している	2 しているほ うが多い	3 していない ほうが多い	4 していない	無答 もしくは重答
	80.5%	18.4%	0.7%	0.3%	

ものの扱い方と正答率の関係

	1 大切に している	2 しているほ うが多い	3 していない ほうが多い	4 していない	市全体	全 国
総 合	69.3	63.9	59.3	46.5	68.2	65.6
国 語	74.0	69.1	66.3	52.3	73.0	70.4
算 数	64.6	58.6	52.3	40.7	63.3	60.7

(分析)

「大切にしているほうが多い」を含め、大切にしている児童は約99%となっており、ほぼ全員の児童が学校のものや公共物を大切にしている。昨年度同様、大切にしていると答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っており、逆に「大切にしていないほうが多い」を含め、大切にしていない児童の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(8) 学校のきまりを守って生活していますか。

きまりを 守る	1 守っている	2 守っている ほうが多い	3 守っていない ほうが多い	4 守れていない	無答 もしくは重答
	48.8%	47.4%	3.3%	0.2%	

学校のきまりと正答率の関係

	1 守っている	2 守っている ほうが多い	3 守っていない ほうが多い	4 守れていない	市全体	全 国
総 合	69.6	67.2	63.4	33.0	68.2	65.6
国 語	74.1	72.3	67.8	41.0	73.0	70.4
算 数	65.0	62.1	58.9	25.0	63.3	60.7

(分析)

「守っているほうが多い」を含め、学校のきまりを守って生活している児童は96%以上となっており、ほとんどの児童が学校のきまりを守って生活している。きまり守って生活していると答えた児童の正答率のみが、市の正答率を上回っている。「守っていないほうが多い」を含め、守れていない児童の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(9) 普段ものごとを最後までやり遂げようとしていますか。

やり遂げる	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	44.6%	47.9%	6.1%	0.6%	0.8%

ものごとをやり遂げることと正答率の関係

	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	72.3	66.2	58.5	31.9	68.2	65.6
国語	75.5	72.0	65.6	42.6	73.0	70.4
算数	69.0	60.3	51.4	21.2	63.3	60.7

(分析)

「ものごとを最後までやり遂げようとしている」「やり遂げようとしているほうが多い」と答えた児童は92%以上で、多くの児童がものごとを最後までやり遂げようとしている。「していないほうが多い」を含めて、やり遂げようとしていない児童の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(10) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師を含む）

勉強時間	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	8.0%	18.4%	39.8%	25.1%	6.9%	1.6%	0.1%

勉強時間と正答率の関係

	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	76.9	70.1	70.3	65.2	55.9	48.8	68.2	65.6
国語	77.9	74.2	75.0	70.9	63.7	55.9	73.0	70.4
算数	76.0	66.0	65.5	59.6	48.1	41.7	63.3	60.7

(分析)

学校の授業時間以外に1日あたり1～2時間勉強をしている児童が最も多く、1時間以上勉強している児童は、約66%になっている。少なくとも1時間以上勉強している児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。また、1時間より少ない児童の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(11) 学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いていますか。

書くこと	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	無答 もしくは重答
	72.8%	23.7%	2.3%	0.3%	1.0%

ノートに書くことと正答率の関係

	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	市全体	全国
総合	70.7	61.9	58.1	45.8	68.2	65.6
国語	75.1	67.9	63.8	52.7	73.0	70.4
算数	66.3	55.9	52.5	39.0	63.3	60.7

(分析)

「書いているほうが多い」を含め、板書等を書いている児童は96%以上となっている。「きちんと書いている」と答えた児童の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。

(12) 授業中に発言をしますか。

発言する	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	無答 もしくは重答
	18.3%	48.5%	27.0%	5.5%	0.6%

授業中の発言と正答率の関係

	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	市全体	全国
総合	76.4	69.2	63.0	57.2	68.2	65.6
国語	78.7	73.6	70.0	64.1	73.0	70.4
算数	74.1	64.9	56.1	50.3	63.3	60.7

(分析)

「ときどき発言する」と答えた児童がもっとも多く、児童全体の約50%を占めている。「ときどき発言する」を含め、発言する児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。逆に、「ほとんど発言しない」を含めて、授業中に発言しない児童の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(13) 携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか。(インターネットへの接続やゲーム機能の使用を含む)

携帯電話等	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	無答 もしくは重答
	24.3%	28.8%	10.2%	36.4%	0.3%

携帯電話やスマートフォンの使用と正答率の関係

	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	市全体	全国
総合	67.0	67.3	67.7	69.8	68.2	65.6
国語	72.6	72.4	72.3	73.9	73.0	70.4
算数	61.3	62.1	63.2	65.8	63.3	60.7

(分析)

「携帯電話を持っていない」と答えた児童が最も多く、児童全体の約36%となっており、昨年度の約59%より減少している。「ときどきしている」を含め、使用している児童が全体の約53%となっており、昨年度の約33%より増えている。「携帯電話等を持っていない」と答えた児童の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。

(14) 読書は好きですか。

読書	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	41.5%	33.3%	16.5%	7.3%	

読書と正答率の関係

	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	市全体	全国
総合	72.6	66.7	63.6	60.5	68.2	65.6
国語	78.3	71.4	67.1	63.9	73.0	70.4
算数	66.9	62.0	60.1	57.2	63.3	60.7

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、読書は好きと答えた児童は、約75%となっている。「好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、それ以外の児童の正答率は市の正答率を下回っている。

(15) 家や学校、図書館で普段（月～金曜）、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）

読書時間	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	無答 もしくは重答
	5.1%	12.0%	25.7%	24.4%	18.2%	14.6%	

読書時間と正答率の関係

	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	71.6	70.0	69.7	68.5	67.2	63.3	68.2	65.6
国語	78.8	76.1	74.8	72.8	71.3	67.4	73.0	70.4
算数	64.4	63.9	64.5	64.2	63.1	59.2	63.3	60.7

(分析)

家や学校、図書館で1日あたり30分～1時間の読書をしている児童が最も多く、児童全体の約26%となっている。国語では、2時間以上の読書をしている児童の正答率ももっとも高く、市及び全国の正答率を上回っている。

(16) 学校は好きですか。

学校好き	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	53.9%	35.6%	7.3%	3.0%	

学校好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	市全体	全国
総合	70.9	66.4	61.3	56.2	68.2	65.6
国語	75.2	71.7	67.0	63.9	73.0	70.4
算数	66.7	61.2	55.6	48.5	63.3	60.7

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、学校が好きな児童は、児童全体の約90%となっている。「好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、それ以外の児童の正答率は市の正答率を下回っている。

(17) 勉強は好きですか。

勉強好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	22.3%	42.4%	25.4%	9.9%	0.0%

勉強好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	78.1	69.0	63.1	55.2	68.2	65.6
国 語	80.2	73.9	69.5	61.7	73.0	70.4
算 数	76.0	64.2	56.6	48.6	63.3	60.7

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、勉強が好きな児童は、児童全体の約65%となっている。「好き」「どちらかといえば好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

【中学校第3学年】 ※総合は、国語と算数・数学の問題数の合計から求めた正答率である

(1) 学校に来る前に、きちんと朝ごはんを食べてきますか。

朝食の 摂取状況	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	無答 もしくは重答
	89.0%	5.6%	3.5%	1.8%	

朝食と正答率の関係

	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	市全体	全 国
総 合	59.9	47.0	46.6	46.4	58.5	57.1
国 語	63.4	52.2	53.5	50.6	62.2	58.9
数 学	54.0	40.8	38.2	41.4	52.5	52.8
英 語	62.2	47.9	47.2	47.3	60.6	59.7

(分析)

「食べてくる」「食べてくるほうが多い」と答えた生徒は約95%となっており、多くの生徒が、学校に来る前に朝食をとっている。「きちんと朝ごはんを食べてくる」と答えた生徒の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。

(2) 早寝、早起きを心がけていますか。

起床・就 寝の状況	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	無答 もしくは重答
	13.0%	39.8%	36.1%	11.0%	

早寝、早起きと正答率の関係

	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	市全体	全 国
総 合	58.2	59.9	58.3	54.3	58.5	57.1
国 語	61.6	63.6	62.2	58.1	62.2	58.9
数 学	52.8	53.9	51.9	49.2	52.5	52.8
英 語	60.2	62.1	60.8	54.9	60.6	59.7

(分析)

「だいたい心がけている」と答えた生徒が最も多くなっており、その正答率が最も高く、市及び全国の正答率を上回っている。「心がけていない」と答えた生徒の正答率のみが、全国の正答率を下回っている。

(3) 一日の睡眠時間はどれくらいですか。(土曜、日曜日は除く)

睡眠時間	1 6時間未満	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	無答 もしくは重答
	10.9%	35.6%	37.6%	13.3%	2.4%	0.2%	

睡眠時間と正答率の関係

	1 6時間未満	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	市全体	全 国
総 合	56.4	59.8	59.0	55.9	54.1	43.8	58.5	57.1
国 語	60.4	63.3	62.6	60.4	60.4	48.4	62.2	58.9
数 学	51.7	54.0	52.7	49.7	47.8	36.8	52.5	52.8
英 語	57.2	62.3	61.6	57.6	53.1	46.4	60.6	59.7

(分析)

一日の平均睡眠時間は7～8時間が最も多く、正答率が最も高くなっている。6時間～8時間の睡眠をとっていると答えた生徒が73%以上となっており、この範囲の正答率が、市及び全国の正答率を上回っている。

(4) 身の回りのこと(整理・整頓など)は、自分でしていますか。

整理整頓	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答 もしくは重答
	45.4%	39.4%	14.1%	1.0%	0.1%

整理整頓と正答率の関係

	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	59.2	58.5	56.8	50.8	58.5	57.1
国語	63.0	62.4	60.1	54.8	62.2	58.9
数学	52.9	52.4	51.8	48.9	52.5	52.8
英語	61.4	60.7	58.5	48.7	60.6	59.7

(分析)

「しているほうが多い」を含め、身の回りのこと(整理・整頓など)を自分する生徒が約85%となっており、多くの生徒が身の回りの整理・整頓は自分で行っている。「しているほうが多い」を含め、身の回りのことを自分でしている生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(5) 先生や友だち、近所の人に会った時、あいさつをしていますか。

あいさつ	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	無答 もしくは重答
	47.8%	39.5%	11.5%	1.1%	0.1%

あいさつと正答率の関係

	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	市全体	全国
総合	59.8	58.9	53.0	42.9	58.5	57.1
国語	63.1	62.8	58.2	49.2	62.2	58.9
数学	53.9	52.9	46.8	39.3	52.5	52.8
英語	62.5	60.7	54.2	40.1	60.6	59.7

(分析)

「しているほうが多い」を含め、あいさつをする生徒が全体の約87%となっており、多くの生徒が先生や友だち、近所の人にあいさつをしている。「しているほうが多い」を含め、あいさつをしている生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(6) 相手や場面に応じて、言葉づかいに気をつけていますか。

ていねいな 言葉づかい	1 気をつけて いる	2 いるほうが 多い	3 いないほう が多い	4 気をつけて いない	無答 もしくは重答
	54.1%	38.4%	6.5%	1.0%	0.0%

言葉づかいと正答率の関係

	1 気をつけて いる	2 いるほうが 多い	3 いないほう が多い	4 気をつけて いない	市全体	全 国
総 合	60.7	56.8	51.6	44.4	58.5	57.1
国 語	64.4	60.6	55.5	50.3	62.2	58.9
数 学	54.7	50.9	46.1	38.5	52.5	52.8
英 語	63.2	58.7	52.7	42.1	60.6	59.7

(分析)

「気をつけているほうが多い」を含め、言葉づかいに気をつけている生徒は92%以上となっている。「言葉づかいに気をつけている」と答えた生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っている。逆に、「気をつけていないほうが多い」を含め、言葉づかいに気をつけていない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(7) 学校のものや公共物を大切にしていますか。

ものの 扱い方	1 大切にしてい る	2 しているほう が多い	3 していない ほうが多い	4 していない	無答 もしくは重答
	67.0%	30.3%	2.0%	0.6%	0.0%

ものの扱い方と正答率の関係

	1 大切にしてい る	2 しているほう が多い	3 していない ほうが多い	4 していない	市全体	全 国
総 合	60.0	56.1	45.9	44.4	58.5	57.1
国 語	63.6	60.2	50.1	51.2	62.2	58.9
数 学	53.9	50.5	40.0	42.0	52.5	52.8
英 語	62.7	57.3	46.5	40.0	60.6	59.7

(分析)

「大切にしている」と答えた生徒が最も多く、「しているほうが多い」を含め、大切にしている生徒の割合は約97%となっている。「大切にしている」と答えた生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っている。「していないほうが多い」を含め、大切にしていない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を大きく下回っている。

(8) 学校のきまりを守って生活していますか。

きまりを 守る	1 守っている	2 守っている ほうが多い	3 守っていない ほうが多い	4 守れていない	無答 もしくは重答
	52.0%	43.3%	3.8%	0.8%	0.1%

学校のきまりと正答率の関係

	1 守っている	2 守っている ほうが多い	3 守っていない ほうが多い	4 守れていない	市全体	全 国
総 合	60.9	57.1	46.4	30.0	58.5	57.1
国 語	64.0	61.5	52.0	36.9	62.2	58.9
数 学	55.1	50.9	40.7	25.3	52.5	52.8
英 語	63.7	58.7	45.9	27.1	60.6	59.7

(分析)

「守っているほうが多い」を含め、守っている生徒は約95%となっており、ほとんどの生徒が学校のきまりを守って生活している。「守っている」と答えた生徒の正答率が、市及び全国の正答率を上回っており、「していないほうが多い」を含めて、守れていない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を大きく下回っている。

(9) 普段ものごとを最後までやり遂げようとしていますか。

やり遂げる	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答 もしくは重答
	38.9%	49.0%	9.6%	1.5%	

ものごとをやり遂げることと正答率の関係

	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全 国
総 合	63.0	57.4	47.4	48.6	58.5	57.1
国 語	65.2	61.8	53.9	54.1	62.2	58.9
数 学	58.0	50.8	40.8	44.3	52.5	52.8
英 語	65.9	59.6	47.4	47.8	60.6	59.7

(分析)

「しているほうが多い」を含め、やり遂げようとしている生徒は約89%となっており、おおむね最後までやり遂げようとしている現状である。ものごとを最後までやり遂げようとしている生徒の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。

(10) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師を含む）

勉強時間	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	7.2%	25.8%	33.4%	14.1%	9.0%	10.4%	

勉強時間と正答率の関係

	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	市全体	全 国
総 合	66.5	63.9	58.8	55.5	52.2	47.4	58.5	57.1
国 語	67.2	65.4	62.5	61.2	57.8	55.3	62.2	58.9
数 学	61.7	58.6	52.7	49.6	45.1	40.2	52.5	52.8
英 語	70.5	67.7	61.2	55.8	53.4	46.4	60.6	59.7

(分析)

学校の授業時間以外に1日あたり1～2時間勉強している生徒が最も多い。1時間以上勉強している生徒が全体の約66%である。すべての教科において、2時間以上勉強している生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている一方、30分未満の生徒の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(11) 学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いていますか。

書くこと	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	無答 もしくは重答
	75.8%	19.7%	3.2%	0.4%	

ノートに書くことと正答率の関係

	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	市全体	全国
総合	61.1	51.9	40.3	32.4	58.5	57.1
国語	64.4	57.2	48.0	35.3	62.2	58.9
数学	55.1	45.8	34.3	33.3	52.5	52.8
英語	63.8	52.5	38.0	28.7	60.6	59.7

(分析)

「書いているほうが多い」を含め、きちんと書いている生徒は、生徒全体の約96%となっており、ほとんどの生徒が、学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いている。「きちんと書いている」と答えた生徒の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。

(12) 授業中に発言をしますか。

発言する	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	無答 もしくは重答
	16.3%	43.5%	27.5%	12.2%	

授業中の発言と正答率の関係

	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	市全体	全国
総合	67.3	60.6	54.9	47.2	58.5	57.1
国語	68.5	63.7	59.8	54.1	62.2	58.9
数学	62.7	54.9	48.0	40.9	52.5	52.8
英語	70.9	63.2	56.6	46.3	60.6	59.7

(分析)

「ときどき発言する」と答えた生徒の割合が最も多い。「ときどき発言する」を含め発言する生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、逆に「ほとんど発言しない」を含めて、発言しない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(13) 携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか。(インターネットへの接続やゲーム機能の使用を含む)

携帯電話等	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	無答 もしくは重答
	58.1%	17.5%	4.7%	19.3%	

携帯電話やスマートフォンの使用と正答率の関係

	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	市全体	全国
総合	56.7	60.2	64.8	60.7	58.5	57.1
国語	61.2	63.4	65.1	63.7	62.2	58.9
数学	50.2	54.6	60.3	56.1	52.5	52.8
英語	58.7	62.7	69.0	62.3	60.6	59.7

(分析)

「ほぼ毎日している」と答えた生徒が最も多く、昨年度の約44%を上回り、約58%となっている。「携帯電話等を持っていない」と答えた生徒は昨年度の約25%を下回り、約19%となっている。ほぼ毎日している生徒の正答率のみが、市及び全国の正答率を下回っている。

(14) 読書は好きですか。

読書	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	41.7%	32.5%	16.4%	8.8%	

読書と正答率の関係

	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	市全体	全国
総合	62.2	57.0	55.8	51.4	58.5	57.1
国語	67.1	61.2	57.8	51.7	62.2	58.9
数学	55.7	50.4	51.2	48.0	52.5	52.8
英語	63.9	59.4	58.3	53.8	60.6	59.7

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、読書が好きな生徒は約74%となっている。「好き」と答えた生徒の正答率のみが、市及び全国の正答率を上回っている。一方、「どちらかといえば好きではない」を含め、好きではない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(15) 家や学校、図書館で普段（月曜日～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書を行いますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）

読書時間	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	4.5%	8.0%	19.9%	31.3%	25.4%	10.7%	

読書時間と正答率の関係

	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	55.7	59.0	60.8	62.5	57.4	45.8	58.5	57.1
国語	62.1	64.0	65.2	65.8	60.5	49.1	62.2	58.9
数学	49.7	52.6	54.8	56.1	51.6	41.1	52.5	52.8
英語	55.4	60.5	62.3	65.6	60.1	46.5	60.6	59.7

(分析)

家や学校、図書館で1日あたりの読書時間について「まったくしない」「15分より少ない」と答えた生徒の割合が全体の約36%となっている。読書時間が、15分～2時間の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(16) 学校は好きですか。

学校好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	33.9%	43.5%	13.5%	9.0%	0.1%

学校好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	59.7	59.7	55.7	52.3	58.5	57.1
国 語	62.7	63.3	60.6	58.1	62.2	58.9
数 学	54.1	53.7	48.9	46.5	52.5	52.8
英 語	62.3	61.9	57.4	52.2	60.6	59.7

(分析)

「好き」「どちらかといえば好き」と答えた生徒は、生徒全体の約77%となり、生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。「どちらかといえば好きではない」を含め、好きではない生徒の正答率は市及び全国の正答率を下回っている。

(17) 勉強は好きですか。

勉強好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	5.1%	17.5%	38.7%	38.7%	0.1%

勉強好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	72.9	66.6	58.9	52.4	58.5	57.1
国 語	71.8	68.9	62.9	57.4	62.2	58.9
数 学	69.1	61.1	52.7	46.3	52.5	52.8
英 語	78.0	69.9	61.3	53.4	60.6	59.7

(分析)

「どちらかといえば好きではない」「好きではない」と答えた生徒は、生徒全体の約77%となっている。「好き」と答えた生徒の正答率は、すべての教科において市及び全国の正答率を大きく上回っている。逆に「好きではない」と答えた生徒の正答率が、すべての教科において市及び全国の正答率を下回っている。

8 まとめ

学力調査の結果から、領域別・観点別の結果の一部に課題が見られるものの、全体的には昨年度に引き続き、全国標準値を上回っている。これは、教員一人一人が日々の授業の充実を図り、着実に取り組んできたこと、各学校が作成し実践している「学力向上プラン」による取組が充実してきたこと、委嘱研究や自主研究を計画的に行うこと、各種研修会や教師力アップ講座を行うことで教員の資質が向上したことなどが要因であると考えられる。

校種別に見ると、小学校では、

- 総合した標準得点値で見ると、22校中16校で全国標準を上回っている。
- すべての学年で、国語と算数の標準得点在全国標準値を上回っている。
- 領域別・観点別における全国の平均正答率との比較では、第3学年の国語、第4・5・6学年算数の「関心意欲態度」以外のすべての学年、すべての領域・観点で全国の平均正答率を上回っている。

中学校では、

- 総合した標準得点値で見ると、11校中8校で全国標準を上回っている。
- すべての学年の国語と英語の標準得点在全国標準値を上回っている。
- 領域別・観点別における全国の平均正答率との比較は、学年によって異なるが、国語では、多くの領域・観点で上回っている。算数・数学では、すべての学年で、下回っている領域・観点が多く見られる。英語では、第2・3学年ともに多くの領域・観点で上回っている。

各学校では、自校の学力調査結果から成果と課題を明確化、共有化して「学力向上プラン」を改善・充実させるとともに、一人一人の児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導の具体的な手立てを計画して引き続き取り組むことが重要である。特に、1時間ごとの授業の充実に向けて、「学力向上プラン」の内容を着実に実施していく必要がある。

また、授業研究会・研究協議会等において、その授業実践における具体的な手立ての効果を検証し、さらなる改善を図ることが大切である。

小学校第6学年及び中学校第3学年では、昨年度に続き質問紙調査を行い、学力との相関関係を分析した。各学校では、教職員が一丸となり、「教育に関する3つの達成目標」との関連を図り、「規律ある態度」の育成や学習規律の確立に向け、家庭や地域住民等との連携も深めつつ、独自の実践を重ね、日々、取り組んでいるところである。調査結果から伺えるように、「規律ある態度」の内容や、「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとする生活態度や規則正しい生活のリズム、正しい言葉づかいやあいさつなどは、学力を向上させる基盤となるものである。今後も、基本的な学習規律や生活習慣を一層確立するため、小中連携から一貫教育へ向けた取組、家庭・地域との連携をさらに推進することが重要である。

教育委員会では、各学校が、今回及びこれまでの調査結果を生かし、委嘱研究や授業研究会等をとおして学習指導の工夫・改善を図ることができるよう支援する。また、学校・家庭・地域が連携をさらに深め、互いに協力して児童生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせることができるよう働きかけていく。